

これまでの経緯

- 2024年6月に離着陸場整備や空飛ぶクルマの活用事例創出に向け、民間事業者との官民協議会を組成
- 機体メーカー・運航事業者等を構成員とし、これまで協議会を2回開催するとともに、実務者WG（計4回）にて議論を行い、「ロードマップ精緻化」に基づく、**実装プロジェクトを2025年3月に立ち上げた**
- 10月に実装プロジェクトⅠ期の事業者を決定

今後の主な検討内容

2030年の市街地への展開に向けた今後の検討事項の整理、調整

【実施方法】

- 官民協議会のもとにWG（担当レベル）を設置。プロジェクトⅡ期以降も見据えた具体的な議論をWGで実施。
- プロジェクトⅠ期の進捗状況等を官民協議会を通じて広く共有。市街地への展開へつなげていく。

今後のスケジュール案

- ・第3回官民協議会（2025年11月5日開催）今後に向けたキックオフほか

2026年度開催予定

実務者WG

- ・プロジェクトⅠ期の状況等の共有
- ・今後の検討に必要な事項の整理

（必要に応じて）
関係者ヒアリングの実施

- ・第4回官民協議会（今後の検討の方向性・プロジェクトⅠ期の調整状況等の共有）